

# Gグループ [1/2]

## 場所を特定できる意見

### ■トンネル部

#### 環境

・トンネル構造によって、地下水の流れを阻害するのではないか。地下水の流れをバイパスで流すと言うのは不安だ。

#### 安全

・地下トンネル部分の災害対策はどうか不安。

#### 工事中

・地下で工事が行なわれる区域では、どんな影響がでるか判らないし、予測もできないので不安である。

### ■大泉街道

#### 計画検討の進め方

・大泉街道がどのように整備されるのか具体的に知りたい。

### ■幹線道路 (目白通り・大泉街道)

#### 交通

・目白通り等で、右折渋滞や地元以外の車の増加による交通渋滞が懸念される。

### ■目白通り

#### 交通

・目白通りの北原交差点以西が整備されれば交通量がさらに増えて混雑は避けられないという懸念がある。

### ■目白通りインターチェンジ

#### 交通

・目白通りインターチェンジが出来ると、地域で自動車を利用する人が増えて、さまざまな問題を生じるのではないかと懸念されている。交通量、大気汚染、騒音の悪化が懸念されるので、ジャンクションにとどめた方が良い。

### ■大泉町5丁目

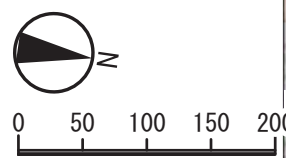
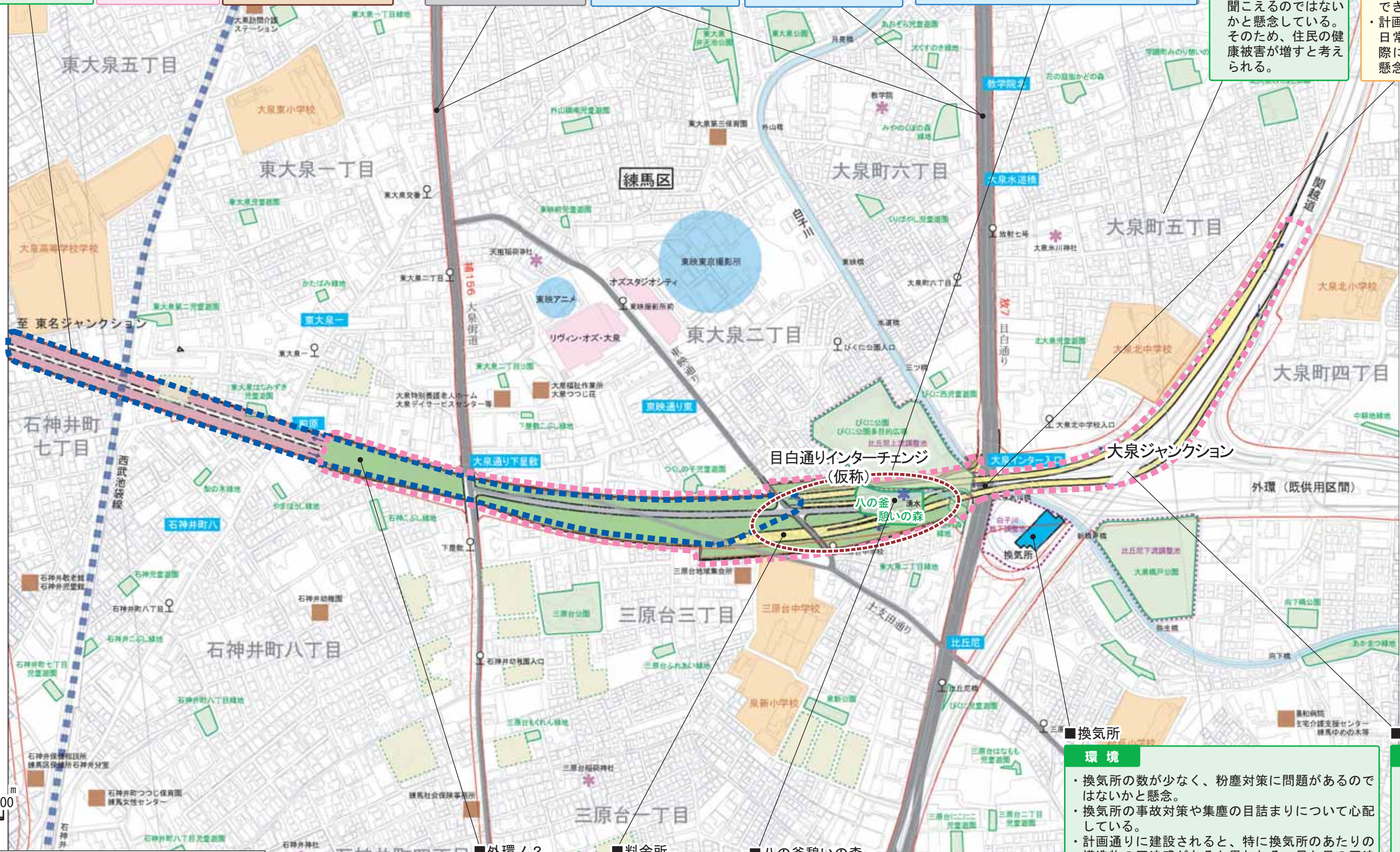
#### 環境

・大泉5丁目周辺はくぼ地になっているため、地形を考えると排気ガスがとまったり、騒音が大きく聞こえるのではないかと懸念している。そのため、住民の健康被害が増すと考えられる。

### ■大泉インター入口交差点付近

#### まちづくり

・ジャンクション付近の道路が広すぎて、徒歩で信号が青の間に渡りきれない。高齢者に優しいとはいえないので計画の中で考慮できないものか。計画で徒歩圏が分断され、日常で自転車を利用する際にも不便になることを懸念している。



■凡例

	特定のポイント		学校		地表部の路面(外環)
	ジャンクション地上部ゾーン		公園・緑地		地表部のその他の施設
	ジャンクション地下部ゾーン		生産緑地		換気所
			主な公共施設等		シールドトンネル部(一部若しくは全ての構造が4mより深い箇所)
			主な道路		シールドトンネル部(全ての構造が4m以内になる箇所)
			都市計画道路		トンネル分合流部(深さ区分については注意を参照)
			河川		外環の地上部の計画範囲
			調整池		外環の地下部の計画範囲(地上部より内側になる範囲を除く)
			主な湧水		地表部の路面(外環以外)
			文化財・史跡		現在の都市計画
					進行方向

### ■外環ノ2

#### 環境

・外環ノ2を地上につくるなら、地下の道路は換気の問題など自然破壊につながるのではではない。

### ■料金所

#### 環境

・料金所をつくると、その付近で車が加速するため排気ガスの懸念がある。

### ■八の釜憩いの森

#### 環境

・八の釜が無くなると子供達が身近に自然に触れ合う機会が減り、子どもの教育環境としてよいとはいえないと懸念している。貴重な八の釜の自然を壊すことはしのびない。他の代用は不可能だと実感した。天然記念物をはじめ見てその重要性を確認した。

### ■換気所

#### 環境

・換気所の数が少なく、粉塵対策に問題があるのではないかと懸念。換気所の事故対策や集塵の目詰まりについて心配している。計画通りに建設されると、特に換気所のあたりの構造物の圧迫感があると思われる。見た目の圧迫感を解消、軽減する方法を検討すべきだ。2.5マイクロメートル以下のSPM(粒子)が環境基準とされていないことを懸念している。

#### 安全

・事故が起こったときに避難に使える確率が高くなるので、換気所の数を増やすことは考えられないか。

### ■大泉ジャンクション

#### 環境

・狭い地域内に、ジャンクションとインターチェンジで自動車レーンが何本もあり、交通量が増えることが懸念される。騒音排出ガスはすさまじいのではないかと懸念される。狭いところに立体的な道路が交差するので、現在以上の騒音や多量の排気ガスが懸念される。



## Gグループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

### ■場所を特定できない意見

#### 交通

- ・外環ができて、周辺地域が便利になると、車が増え渋滞が悪化するのではないか。
- ・外環ができることにより周辺道路の交通量が本当に減少するのか懸念している。
- ・環八、環七を避けて外環に交通が集中するため、目白通りインターチェンジの交通量が増えるのではないかと懸念している。
- ・外環工事の建設手続きを迅速にして早くつなげて欲しい。
- ・計画通り外環が建設されると、車が道路にあふれ生活道路にも影響があるのではないかと懸念される。
- ・交通量が減るとの予測結果を懸念している。

#### 環境

- ・中央環状線の方式にならって、排ガス対策を考えてもよいのではないか。
- ・学校付近に外環が出来ることによる生徒への影響が懸念される。
- ・排気ガスによる健康への影響を心配している。排気ガスの吹き出し口が4箇所しかなく、大泉インターチェンジ付近が最も影響を受けるのではないかと。
- ・地下水や地盤に対する影響を心配している。地下水の流れ方や地盤沈下など長期的な視点で計画を検討すべきである。
- ・季節や気候によって、空気の流れの状況が異なると考えられるので、大気汚染の調査を四季折々やってほしい。特に遮音壁が何層にもなるので空気の流れが悪くなるのが懸念されるので、その影響も調査してほしい。
- ・現在、付近の高速道路で、暑い日にはアスファルトが溶けてタイヤとの摩擦の音が聞こえる。外環が建設されるとこの音が大きくなる懸念があるので、路面の素材を検討、改良してほしい。
- ・大気汚染の実態が分からず心配なので、SO<sub>2</sub>（二酸化硫黄）、NO<sub>x</sub>、CO、ベンゼン、浮遊粒子状物（SPM）、ダイオキシンなどの排出調査を毎月定点で観測して、住民に対して説明できるようにしてほしい。
- ・開通後に事前に予測出来なかった問題が生じた場合の対応を事前に検討する必要があるのではないかと。

#### 安全

- ・事故や災害への対応を懸念している。

#### 工事中

- ・工事期間中、交通渋滞が悪化するのではないかと心配している。
- ・工事期間のトラックなどが迷惑である。周辺の学校の生徒を含めた地元への影響が心配。

#### 移転補償

- ・移転対象者だが代替地について心配しており、具体的な説明がほしい。
- ・移転の補償についてはどの段階で説明してくれるのか知りたい。
- ・移転になるかどうかの境界線上に住んでおり、どのように対応してくれるか心配している。

#### 計画検討の進め方

- ・事業費の概算について住民への説明がほしい。
- ・需要予測の結果について不信感がある。実際には予測と異なる結果になり、生活への影響などが生じるのではないかと心配。
- ・将来、車そのものの環境対策やトンネル工事の技術的環境対策などの技術の進歩によって解決されることもあるのではないかと。
- ・外環の問題だけでなく、「車の利用そのものを減らす」という根本的、社会的な方策を考えるべきだ。
- ・地元への影響だけでなく、東京全体の交通計画についても考える必要がある。

# Hグループ [1/2] 場所を特定できる意見

## ■計画用地の土地

### 移転補償

- ・自宅兼店舗の建物の一部が事業用地に含まれる計画になっている。前面道路は全て事業用地に含まれている。工事が始まると建物への出入りが出来なくなり、商売にも影響が出るのではないかと不安である。
- ・事業用地に係る地権者は自分の土地や家屋がどうなるのかを心配している。事業化前の今の段階から、地権者に対して測量や用地買収の時期、工事日程などの説明会を始めておかないと、将来的に揉めることになるのではないかと心配している。

## ■トンネル部

### 安全

- ・トンネル内で事故が起こった時の避難路が確保されているか心配である。現案の地上部まで徒歩で避難するには距離が長いので、大深度にあたる箇所にも地上への避難路を作り、あわせて換気所も設置して欲しい。

## ■八の釜憩いの森

### 環境

- ・外環道の整備に反対ということではないが、自然の持つ機能を保全してほしい。
- ・八の釜の湧水が無くなるのではないかと心配している。外環道の整備後もその湧水を維持して欲しい。例えば、湧水から小川を引くことを望む。
- ・外環整備に伴い、八の釜の水脈が枯れてしまうのではないかと懸念している。湧水が残るのであれば、比丘尼公園に蓋掛けして、その上部に八の釜の持つ湧水や自然林を移動して欲しい。

## ■大泉街道

### 交通

- ・外環道が開通すると、大泉街道の交通混雑や歩行者の安全性が悪化するのではないかと懸念している。大泉街道などの周辺道路の整備も必要だ。

## ■目白通り

### 交通

- ・目白通りは現在でも交通量が多く、外環道が整備されるとますます交通が混雑するのではないかと懸念している。
- ・目白通りがさらに混雑するのではないかと心配している。混雑緩和のために、北園交差点から西の早期延伸を望む。

### 工事中

- ・工事期間が長期にわたるため、トラックの出入りや大型重機の搬入などで、目白通りの混雑が激しくなるのではないかと心配している。

## ■大泉町5丁目

### 環境

- ・大泉町5丁目では、有志が大気汚染の定点観測を続けているが、外環道の整備による大気への影響を心配している。

## ■目白通りインターチェンジ付近

### 交通

- ・外環道が開通すると、目白通りに高速道路への出入り口が2箇所新設されることにより、さらに渋滞するのではないかと心配している。

### 環境

- ・インターチェンジの出入り口で渋滞が起こり、大気への影響が進むのではないかと心配している。

### まちづくり

- ・インターチェンジの新設箇所は、現在の三叉路から十字の交差点になり、通りの横断が不便になるのではないかと心配している。特に目白通りの横断が円滑になるように地下道などの整備を望む。

## ■前原交差点周辺地区

### まちづくり

- ・商店を営んでいる。1日に50回程度の車の出入りがあり、周辺道路が分断されると通行が妨げられて商店の営に影響があるのではないかと心配している。

## ■計画地内の道路

### まちづくり

- ・東大泉2丁目と三原台3丁目の地域分断が心配である。事業用地を利用して、連絡できる道路の整備を望む。
- ・東大泉2丁目と三原台3丁目では、事業用地との境界部分が行止まり道路になるのではないかと心配している。目白通りから大泉街道をつなぐ道路計画を、外環の既共用区間のように、中央を緑地帯にしてその両側を車道、歩道の順に整備して、行止まり道路にならないようにして欲しい。

## ■三原台1丁目

### 環境

- ・生活水を地下水でまかなっており、地下水が涸れると生活できなくなるので心配である。

## ■新橋戸橋

### 交通

- ・新橋戸橋の通りは、車の抜け道に利用する人が多く、目白通りが混雑するとさらに交通量が増える。外環整備後に目白通りが混雑して抜け道の交通量が増えるのではないかと心配している。

## ■換気所

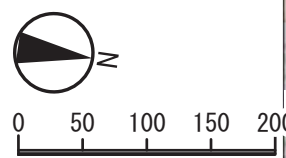
### 環境

- ・大泉地区の換気所は、地上80mまで吹き上げて排気ガスを分散させると説明されているが、大気への影響が心配である。
- ・換気所は排気ガスを大気中に垂れ流すことにはならないかと心配している。換気所における高性能な除去施設の開発・設置を望む。
- ・換気所周辺が環境や景観を配慮しない無機質な構造物になるのではないかと心配している。例えば、低いところに植栽を施すなどの工夫を望む。

## ■首都高速10号線

### 交通

- ・練馬インターチェンジから首都高速につながっていないので、関越道の利用者が大泉地区の一般道路に下りることになり、交通が混雑している。首都高速10号線の早期開通を望む。



# Hグループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

## ■場所を特定できない意見

### 交通

- ・地区内交通が混雑することが心配である。地区内交通の混雑を防ぐために標識などのわかりやすいサイン計画の整備を望む。

### 環境

- ・外環沿線で地上部に当る地区だけに換気所が計画されており、特に、大泉地区は中央ジャンクションからの延長11km分の換気をする事になっている。途中の大深度地区との負担の平等性が取れておらず、他の地区でも1、2箇所増やせないか検討して欲しい。
- ・外環沿線全体での負担の公平性を考慮して、インターチェンジやジャンクションのない地域に負担を配分することを望む。
- ・環境影響評価のあらましで、「地下水流動保全工法」が紹介されているが、通水部を設けても、水脈に影響が出るのではないかと心配している。

### 工事中

- ・工事期間が長期にわたるため、工事関係車両が、地区内の生活道路に侵入してこないか心配である。
- ・工事車両が生活道路に流入して来るのではないかと心配している。工事計画を業者任せにしないで、行政が周辺的生活環境を保全するところまで監視して欲しい。
- ・工事期間中に、買物などに利用する生活道路が混雑したり、利用できなくなるのではないかと心配している。回り道などの案内看板などで誘導して、支障のないように徹底して欲しい。
- ・大泉街道(補助156)の拡幅整備が終わっていない状態で、外環道の工事に着工すると、工事車両等で交通混雑が激しくなる。歩道も整備されておらず、歩行者の安全性を懸念する。

### 移転補償

- ・地下15～30mの水脈に当る井戸水を生活に利用しており、外環工事で水質悪化するのではないかと心配している。以前、区に上水道を引く相談をしたが、新設箇所の大部分が公道上であるにも関わらず、高額の自己負担が必要と聞いており不安である。

### 計画検討の進め方

- ・地権者や周辺住民の質問に回答できる常駐の職員を配置して、窓口を常設して欲しい。

# I グループ [1/2] 場所を特定できる意見

## ■八の釜憩いの森

### 環境

- ・道路が八の釜上を通過しなければならない理由が分からない。八の釜上を通過している理由、この計画しか考えられない場合によるその理由について説明してほしい。
- ・八の釜はこの場所しかないで、八の釜の緑が残ることを期待する。計画上の選択肢としてこの場所しかないなら仕方がないが、出来る限り住民の声に配慮して欲しい。
- ・自然遺産とも言うべき八の釜の湧水を守れるのか。水脈が断ち切られるという懸念がある。本線を三郷側の遠くからトンネルにして湧水の水脈に少しでも影響を与えない方法、緑に覆われ目立たないような地上を通過して湧水を守るなど自然を破壊するのではなく自然と一体化した試みを希望する。
- ・八の釜の緑、湧水、生き物すべてが大切である。珍しい鳥もいる。一度壊れた自然は取り戻せない。
- ・道路が八の釜を通る案であることへの懸念がある。ランプの線形を修正して、八の釜付近に道路線形が分からない案を検討する必要もある。
- ・八の釜の移転については、現状の技術で対応が可能だと思うので、再現されることを期待する。

- ・仮に八の釜を移転するとしても、最大限の配慮がなされるのかどうか懸念がある。隣りに池を作りホテルを放せばいいということではない。簡単に考えて欲しくない。
- ・移転した場合、人工的な公園のような感じになるのではないかと懸念している。自然のままがいい。
- ・八の釜が移転する場所が、びくに公園のような人工的な場所では心配である。八の釜の移転先でも現状の景観が保持できるようにして欲しい。
- ・八の釜の移転先がどのような景観になるのか不安がある。その具体案が欲しい。
- ・八の釜の代替地は、八の釜と同等の自然を確保できるか懸念がある。例えばビオトープのような形態にしてはどうか。
- ・八の釜の移転が、八の釜を潰してから行われるのでは遅すぎて、代替にならないことを懸念している。早い時期に実施すべきである。工事着手前に調査し移転すべきである。
- ・八の釜の移転先の水源について懸念がある。未来永劫、水源が確保出来るか不明である。
- ・八の釜の移転について行政の説明が少ないことへの懸念がある。八の釜移転の案を出して欲しい。

## ■大泉街道南側の環境施設帯

### 交通

- ・大泉街道から南側にある外環トンネル上部の緑地帯部を生活道路にするようなことを聴いているが、実際どのように使われるのか不明なので心配である。

## ■環境施設帯

### 環境

- ・八の釜憩いの森内にはゲートボール場がある。地域で活用されている場所が、なくなることへの懸念がある。ゲートボール場を確保して欲しい。

## ■地上部の計画道路

### 交通

- ・大泉街道と目白通りとを結ぶ計画の地上部の道路は、地域の生活道路ではなく通過交通のための道路になるのではないかと心配である。

## ■計画地内の東西道路

### 交通

- ・現在、計画地を東西方向を横断する道路は、今後どのようなのか心配である。買い物に使っている現状の道路が使えないのは困る。現状のアクセス道路は確保して欲しい。東西道路のある今の間隔がちょうどよい。
- ・計画地内の生活道路がどうなるのか不安である。今後確保してくれる生活道路を教えてください。

## ■まちづくり

- ・計画地内の生活道路がどうなるのか不安である。生活道路を直線にする等の意見を聴いてもらえるのか。
- ・外環の整備により生活道路が分断されることを懸念している。

## ■工事中

- ・開削部分を工事する際、計画地内の生活道路はどのような心配である。住民が通る仮設橋を確保してほしい。

## ■土支田通り (前原～下屋敷)

### 交通

- ・前原から下屋敷の交差点の間の渋滞がひどい。生活道路の渋滞の改善を期待する。

## ■土支田通り (下屋敷～三原台中)

### 交通

- ・外環整備により生活道路の渋滞や安全性が改善されることを期待する。

## ■白子川の外山橋付近、東大泉弁天池公園 ■びくに公園 ■大泉インター入口付近 ■関越道

### 環境

- ・八の釜の代替地が、現状の八の釜の景観を継承できるのか懸念がある。代替案を考えるならば、移転先の調査をして景観が継承できるようにして欲しい。湧水量調査やボーリング調査を実施して八の釜の代替地の可能性をシミュレーションしたらどうか。その近くの東大泉弁天池公園の活用も検討してはどうか。

### 環境

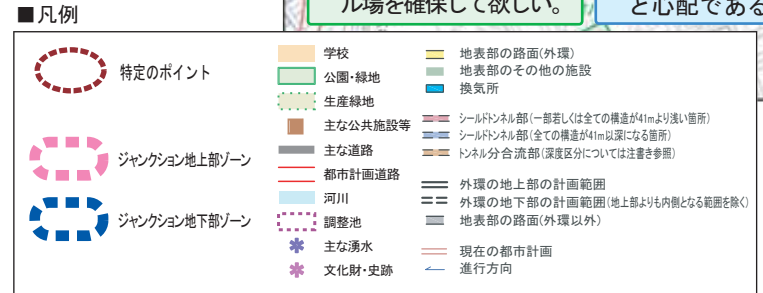
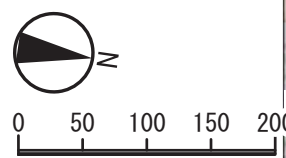
- ・八の釜が代替地で残されることを期待する。八の釜の代替案を作成して欲しい。びくに公園内に移転することも可能ではないか。

### 交通

- ・大泉インター入口付近での渋滞はなくなるとの説明があるが、現在でも渋滞しているため、無くなるのではないかと懸念がある。根拠がわからないので具体的な台数を示して欲しい。

### 交通

- ・外環とあわせて関越自動車道の新潟方面から来る車の出口を新設することで、利便性が高まり地域の渋滞が改善されることを期待する。例えば新座料金所か、あるいは埼玉県と東京都の境界付近でETC専用出口でも出来ないか。



## ■換気所

### 環境

- ・ジャンクションおよびインターチェンジ周辺地域のNO<sub>2</sub>、SPM等による大気への影響を懸念している。
- ・NO<sub>2</sub>、SPMに対する現状のフィルターの効果に疑問がある。
- ・換気所は、欧米のようにPM2.5にも対応できる良い設備が導入されることを期待する。
- ・換気所の数が少なく大泉への負荷が大きいことへの懸念がある。数を増やして負荷を減らすべきである。
- ・井荻トンネルの換気設備は故障したままで、何も対策が講じられていないと聞いているため、換気所の性能について心配である。
- ・井荻トンネルの換気設備の故障及び故障原因が不明のことを考えると、大泉で一箇所しかない換気塔が壊れたらどうなるのか不安である。1箇所だけでなく複数の換気塔をつくり、故障時のリスクに対応してほしい。

- ・井荻トンネルでは換気設備が故障し、故障の原因が不明だと聞いている。故障の原因が不明なことが怖く、ここでも故障したらどうなるのか不安である。
- ・換気塔の高さは地表面から30mとのことであるが、防音壁の高さを考えると低いのではないかと心配である。防音壁と換気所の排気口の高さが近いので、拡散する際に影響があるのではないかと心配である。換気塔を高くして防音壁から距離をとってほしい。
- ・換気所のフィルターを定期的にメンテナンスする予定とのことであるが、フィルターの性能に懸念がある。メンテナンスの具体的な方法を教えてください。
- ・ジャンクション周辺の風下に排気ガスが流される懸念がある。
- ・集めた粉塵への対応方法について懸念がある。どのように処理するのか。また、どの程度集まるのか、どの程度外に放出するのか。

- ・換気所に関するデータが少ないことに懸念がある。
- ・影響予測の結果に根拠が示されていないことへの懸念がある。何を根拠に、『影響が小さい』とか『影響が極めて小さい』と言い切れるのか。
- ・排気ガスを換気所の塔頂部から上空高く吹き上げる際の拡散前後の濃度の違いがわかるデータがないことへの懸念がある。拡散事前のNO<sub>2</sub>とSPMの濃度はどの程度か。
- ・換気システムとして、トンネル内の空気を100m上空に吹き上げて拡散させる計画であるが、この考え方に懸念がある。空気がきれいならば問題ないが都内の空気は汚れており、出された排気を浄化するだけの力があるのか。

## ■安全

- ・換気所からの排気の予測についてはトンネル内で事故が起きて渋滞となった場合など最悪の事態も想定してほしい。

# I グループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

## ■場所を特定できない意見

### 交通

- ・外環が大泉まで整備されたとき桜並木通りの交通量が急増した。外環が更に伸びた場合、交通量が増えるのではないかと心配である。
- ・青梅街道10の整備が中止になった場合の大泉周辺の交通量への影響を心配している。片方だけが建設されても意味がないので両方が建設されるようにしてほしい。
- ・現在は、自宅前の生活道路が大泉インターから出た車の抜け道で渋滞し、事故が多発しているため、外環整備により改善されることを希望する。
- ・生活道路における通過交通など一般道の問題について、外環の整備と併せて考え、地域住民の安全が確保されることを期待する。
- ・各交差点は現状でもパンク状態である。道路建設後もパンク状態になるのではないかと懸念している。
- ・外環の既供用区間の整備で大事なことは、上部に緑地帯が出来たことよりも、両側に大きな側道と遊歩道ができたことである。そのことを考慮して検討すべきである。

### 環境

- ・外環によりさらに排気ガスが増加することを心配している。
- ・煙は空気より重いので、低くなっている白子川周辺に有害物質が溜まり、ぜんそくの発生が増えるのではないかと懸念している。
- ・外環道路が完成する頃には車から排気ガスが出ないようになっていと思うので、大気質に対しての心配がない状況であることを期待する。
- ・外環道路が完成する数十年後はガソリン車が減って、水素等を使った車の研究も進むと思うので、NOxも今後それほど問題にならないことを期待する。予測データにはガソリン車が減少するデータも反映してもらいたい。
- ・外環道路が完成する数十年後はガソリン車が減って、水素等を使った車の研究も進むと思うので、今後は、NOxよりタイヤの摩耗やアスファルトが削られたかす等の粉塵が問題である。
- ・騒音・振動が基準値以内でも影響に対して不安がある。対策を考えて欲しい。

### まちづくり

- ・外環の整備により沿線の用途地域規制の変更が必要になるのではないかと。用途地域が変更される場合、生活環境にどのような影響があるのか不安である。
- ・商店会で地域の公園などの清掃を行っている。外環により地域が分断されると、商店会も分断され、コミュニティが分断されることへの懸念がある。
- ・外環ができることで、商店街への影響が心配。地域分断が生じないように生活道路を確保してほしい。

### 工事中

- ・工事が長期間なので、施工中の沿道住民の生活環境、生活設計への影響が心配である。各施工段階において工事車両の進入、騒音、振動等がどの程度地域に影響を与えるのか公表してほしい。
- ・工事中の騒音・振動対策について不安がある。現状でも騒音・振動対策が講じられていない気がしたので、考えてほしい。
- ・工事中的子供の安全が心配である。生活圏内に工事車両を進入させない、工事車両の通行時間を制限する等の案を考えて欲しい。

### 移転補償

- ・自宅が計画線内で土地を売ることができず迷惑している。
- ・自宅が計画内にかかっており、高齢のため移転や代替地のことが心配である。
- ・外環整備による痛みを伴う地元住民の生活に関する保障が考えられていないことへの懸念がある。例えば、減税や騒音・振動対策費用負担を考えて欲しい。（エアコンや防音サッシの費用負担）

### 計画検討の進め方

- ・大気について『事業者の実行可能な範囲内で、必要に応じ最新技術を換気所に適用することを事業実施段階で検討する』ことが確約されていないため不安である。
- ・海外の技術や実績を調査していいものを取り入れたり、新技術を積極的に取り入れて欲しい。
- ・他地域の検討会における意見等も合わせて整理し、必要に応じて公表してほしい。
- ・事業の有効性がわからないという懸念がある。外環既設開設区間における政策評価の実施および公表して欲しい。
- ・誘発交通量に関する予測も行い計画を検討して欲しい。
- ・大泉の交通量は青梅街道インターチェンジとの関係があるため、大泉と青梅街道インターチェンジの関係を踏まえて交通量を予測し、計画を検討しているのか知りたい。
- ・住民は現状で何も分からないことが不安である（目に見えないことが不安である）。もっと具体的な情報を提示して欲しい。

# Jグループ [1/2] 場所を特定できる意見

## ■八の釜憩いの森

### 環境

- ・八の釜は文化であり、子どもが育った原風景であるので、残したい。効率一辺倒ではなく、歴史文化を大切にしてほしい。
- ・八の釜憩いの森や湧水の回避ルートや保全の検討をしてほしい。
- ・区が認めた大切な財産である八の釜の森や湧水がなぜ残せないのか説明してほしい。
- ・八の釜の代替計画の検討の可能性、スケジュールを知りたい。
- ・八の釜を移転させることを前提に考えるのではなく、まず現在の八の釜がどのような水系できているのかなど現状をしっかりと調べ、それを住民に知らせてほしい。
- ・八の釜は本来もう少し南側にあったと聞かぬが、代替のところで復元できると思えない。

- ・すでにボーリング調査で、現状は可能性、スケジュールを知られていない。住民に内容をきちんと公表してほしい。
- ・現在ある貴重な湧水やカワモズクなどは簡単に移植や再現はできないし、再現しようとしても陳腐な物になってしまうと思う。
- ・環境施設帯については、八の釜の復元という陳腐になってしまっているので、切り離して考えても、住民が我慢している分地域にとって有効な空間にしてほしい。

## ■大泉町5・6丁目の道路

### 工事中

- ・大泉町5丁目、6丁目は道路が狭く、現在白子川の改修工事で多くの工事車両が通って危険である。外環の工事でさらにひどくなるのではないかと懸念する。

## ■目白通り

### 交通

- ・目白通りの交通事情の改善を期待している。
- ・すでに外環道の目白通りの出入り口が混雑しているため、渋滞を解消するために外環の整備と合わせて目白通りを拡幅してほしい。

## ■大泉町5・6丁目の道路（通学路）

### 安全

- ・出入口周辺に交通が集中することで、大泉6丁目の歩車分離がない通学路に通過交通が入ることを心配している。外環完成前に既存の道路整備が必要。

## ■関越道新座料金所

### 交通

- ・渋滞が解消されると思うので、関越道新座出口の部分をIC化することを期待する。

## ■大泉インターチェンジ

### 交通

- ・大泉ICが両方向から出入りできるようになることで、周辺も混雑することが懸念される。
- ・外環道は現在入りづらい入口設計になっているので、つなげる際にきちんと改良してほしい。
- ・今でも混雑しているのに、出入り口が増えて一般道との合流が捌ききれないことが予想される。比丘尼交差点アンダーパスなど道路の工夫をしてほしい。

### 環境

- ・出入り口付近では停・発車の排気ガスに加え、換気所による大気への影響も懸念される。換気所は一部の地域に負担が集中しないよう公平に設置してほしい。

## ■大泉ジャンクション

### 交通

- ・現在でもICの手前で混雑しているため、高速道路に入ってからJCTに入れるようにし、一般道の混雑を緩和してほしい。

## ■換気所

### 環境

- ・今の外環道は何とか我慢できるが、それに換気所による大気質の悪化が加わることに對しては、健康被害などからしても受け入れることができない。
- ・現在の換気所の位置は周辺地域に比べて一番低いところであり、煙突を高くしてもそれほど飛散はできないのではないかと懸念している。
- ・現在の換気所の位置は料金所そばであり、車両の発進停止などが多く排気ガスが多く出ることが想定されることから、練馬区に大気汚染が集中することを懸念している。
- ・すでに清掃工場も近くにあるのに加えて、換気所ができることによる大気への影響が心配。
- ・換気所は、なるべく飛散物が生じないような対策を検討すべき。
- ・2.5マイクロメートル以下の粒子状物質を除去できる技術がアメリカにあると聞いており、外環の整備にもこのような技術を導入し除去して欲しい。
- ・換気所の吹き上げが高ければ高いほど、汚染は近隣に拡散されるだけである。換気所を必要としない、メンテナンスが開発されるまで待つべきと考える。
- ・換気所を南に移動した方が地盤が高いので、換気機能が効果的になるのではないかと懸念している。
- ・換気所の地震への安全性を担当者に尋ねたら、これまでの震災の震度には耐えられるという答えがあったが、それ以上の地震があったとき不安だ。

## ■目白通り（大泉インター入口～比丘尼交差点）

### 交通

- ・外環道が開通することによる周辺地域の交通量増加が心配だ。

## ■首都高速10号線

### 交通

- ・東京中心部との連絡が重要なため、首都高速道路までをつなぐ構想の実現（10号線）が期待される。
- ・首都高10号線について、どの程度計画が進んでいるのか詳細を知りたい。

## ■東映通りとの交差点

### 交通

- ・周辺住民が外環を使う際、土支田通りに入ってからでないと入れないので、これ以上渋滞を増やさないために、東映通りから外環に入れるような工夫は考えられないか。

## ■料金所

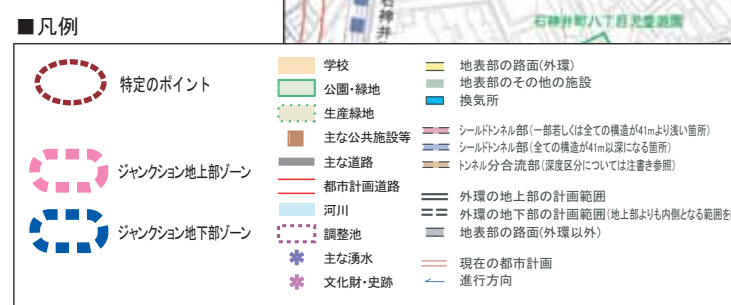
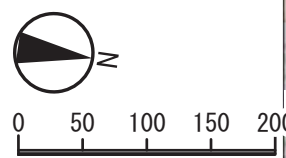
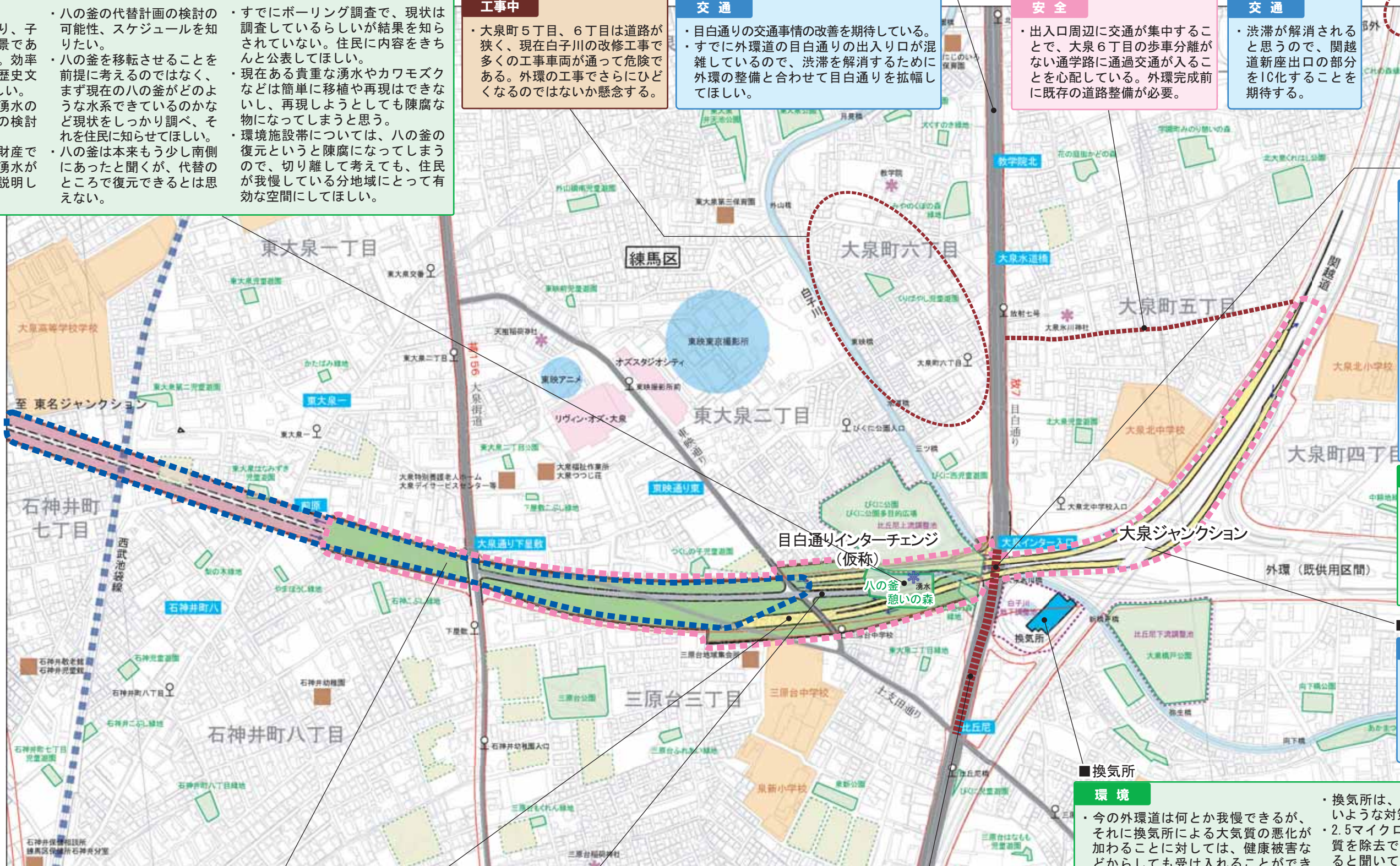
### 環境

- ・料金所を多く造らず、一本化すれば料金徴収時の駐車時間が減り、発進・停止時の排気ガス軽減が期待される。また通行料の効率化により輸送ビジネスの点でもメリットがあり、経済活性化にもつながるのではないかと懸念している。

## ■環境施設帯

### 環境

- ・八の釜の上にあるゲートボール場が外環道によってつぶされる。代替地は予定されているようだが、日陰がなく高齢者にとっては使いづらい。高齢者にとって大切なレクリエーションの場として配慮や工夫をしてほしい。



## Jグループ [2 / 2] 場所を特定できない意見

### ■場所を特定できない意見

#### 交通

- ・交通渋滞を解消するためには、外環完成後に大型車両の進入禁止の徹底など規制も徹底すべき。
- ・道路を造ったら逆に渋滞を誘発してしまうのではないか心配。
- ・練馬区西部の道路の充実を期待している。
- ・谷原交差点は、渋滞することは計画段階から予想されていたのに対応せず、結局渋滞がひどく何度も信号手前部分を拡張している。後から追加すると余計な費用がかかるので、今回の計画では、きちんと事前に対処し、無駄のないようにすべきだ。
- ・現在の途中で止まっている状況よりは、外環が開通することによる交通量減少に期待したい。
- ・現状の大泉IC周辺が渋滞しているのに、さらに東名方面の出入り口が増えると明らかにさらに渋滞する。下りだけの出口を新座方面に別途設置し、すでにある関越道の渋滞も緩和させたい。

#### 環境

- ・大都市に世界でも類がない大規模高速道路の換気所を集中的に作った際の大気質の汚染が練馬区に集中するのではあれば、これまでのような地上型の道路の方が大気質汚染も集中しないと思われる。
- ・大都市に世界でも類がない大規模高速道路の換気所を集中的に作っても大丈夫なのか。換気所を分散して設置するなどして、リスクを分散した方がよいのではないか。
- ・環境省・厚生労働省を交えて大気汚染物質の身体影響を明らかにすべきである。光化学オキシダントは反応二次生成物質であり、予測の対象としないとあるが、練馬は光化学スモッグ注意報多発地帯でもあり予測を要望する。
- ・井戸水を使っている家があり、地下工事に伴う注入液により水質が悪くなることを心配している。
- ・地下水の漏水は、土留め壁のコンクリートが地盤と密着して一体化するので新たな水みちが発生することはないと回答しているが、深度50mは未知の世界。想定が覆されることはないと確信できるのか。八王子トンネルは漏水し、地下水の汚染も心配されている。
- ・元々この周辺は沼地なので大規模な構造物を作っても大丈夫なのか心配だ。
- ・環境影響や健康との関係など、関係する省庁である厚生労働省や環境省などの判断を加味した総合的評価が必要だ。
- ・予測と実態が乖離した場合の対応、責任の所在を明確にするべきである。大規模事業を執行する場合は、事業完了まで責任を全うするような態勢（ママ）で臨むべきと考える。

#### まちづくり

- ・周辺住民にとっては、道路ができることによってどうまちが変わるかが一番気になる。現在の周辺地域の都市計画の情報がベースになるはずだが、そうした情報も提供されていないので、きちんと説明してほしい。

#### 安全

- ・既成市街地の道路整備は十分ではないが、それを整備しても危険が増大するだけで、道路整備だけによる安全確保は期待できない。

#### 工事中

- ・外環の工事により、大型の工事車両の進入がますますひどくなるのではないか心配。工事車両の地域内への進入規制をしてほしい。
- ・工事中の地域分断と交通安全性への影響が心配である。どのように対処するのか説明してほしい。
- ・工事中は排気ガスを多量に出すトレーラーが多く一般道を往来することになるため、工事中の排気ガスへの対策を懸念している。
- ・工事で水を止めるために注入液をつかうと聞いたが、土壌や水質の汚染が心配である。注入液の安全性について教えて欲しい。
- ・工事車両が多く通ることが予想されるため、工事段階からの大気への影響を心配している。
- ・残土をリサイクルするといっているが、大深度の土には未開の微生物などがあり、影響が心配だ。

#### 計画検討の進め方

- ・事業採算をどのように考えているのか。
- ・最新のデータを反映させた将来交通量予測を行うべき。
- ・すでに新聞報道の交通量予測では、自動車が増えると予測されているのに、現在公表されている環境評価や調査の結果は、それに対応していない古い物を使っている。最新のデータを用いて検討してほしい。
- ・計画交通量などの予測値や前提条件がすでに想定を覆していることを懸念している。需要予測について再検討してほしい。